吉野川を釣る！

（旧吉野川流域の用水路）

こんにちは、さすらいの釣り人系河川管理者のＮです。趣味のルアーフィッシングを通じて、吉野川流域の素晴らしさを皆様にお伝えできればと思います。

私は、ルアーでいろいろな魚を釣ることを趣味としていて、現在までに２８０種ほどの魚（淡水・海水・軟体動物含む）を釣っています。

今回、徳島に本当に久しぶりに勤務することとなりましたので、「吉野川でルアーにより何種類釣れるのか」に挑戦してみたいと思います。

現在２３種達成ですが、今回は何種類釣れるでしょうか？

だいぶん月日も経ってしまいましたが、２０１８年の春～秋の淡水魚の釣果をご紹介します。

<旧吉野川沿い用水路【小魚編】>

一昨年春から本寄稿に向けて、吉野川水系の小河川で淡水魚を狙って、自転車でさまよっていました。

旧吉野川と言えばブラックバスが有名ですが、出来るだけ在来種を釣るため、用水路に狙いを定め、左写真の近くの用水路でルアーを投げてみました。

用水路には、ボラ、真鯉、タナゴが沢山いましたが、ルアーに反応はしません。それでも諦めずにどんどん水路を遡っていきます。

そのうち水路が拡がり溜まりになっているところでやっとルアーに反応する魚が現れました。なかなか口を使わなかったのですが、しつこくルアーをキャストしてなんとか釣り上げることが出来ました。上げてみるとモロコ類のようですがわからないので知り合いに頼んで同定してもらうとコウライモロコということでした。

今まで釣ったことのない種類だったので大喜びで納竿としました。

<タックルデータ>
ロッド ：パックロッド６ｆ（約１．８m）
リール ：ダイワ2000 番
ライン ：ＰＥ0.3号
リーダー：フロロカーボン１号
ルアー ：スプーン２．５g

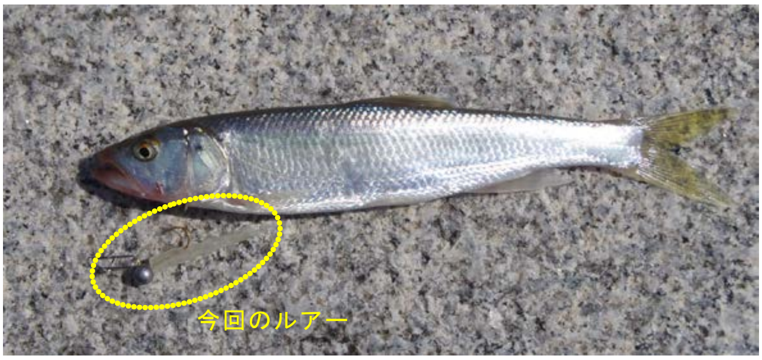
＜今切川沿い用水路【小魚編】＞

前回に味を占めて、今度は今切川付近の水路を探ってみました。

今回の水路は、少し大きいタナゴやフナが沢山います。なんとかして釣ろうとしますが、スプーンやジグでは見向きもしてくれません。

そこで、極小ワームの登場です。０．５ｇの市販のジグヘッドに市販のワームを２ｃｍ位に切ってセットしたもので狙ってみます。これには反応はするもののやはり口は使いません。

しつこく狙っているとひときわ反応のよいオイカワのような魚が現れました。そこで、ただ引きからちょんちょんとアクションを入れる引き方に変更すると、とたんにばっくり喰ってきました。



楽しみながら、上げてみると魚食性のハスでした。ハスはきれいなところに生息していると思っていたのでびっくりでした。

その後も釣れ続け、４匹釣り上げることが出来ました。

<タックルデータ>
ロッド ：パックロッド６ｆ（約１．８m）
リール ：ダイワ2000 番
ライン ：ＰＥ0.3号
リーダー：フロロカーボン１号
ルアー ：0.5g ジグヘッド改造１インチワーム

＜飯野尾川支川渡内川【小魚編】＞

次は、吉野川右岸を巡ってみました。

飯尾川周辺を自転車で、徘徊してみると右支川の渡内川にいいポイントを発見しました。この釣行は、１１月中旬であった為、堰を倒しており水位は低く魚が集中していて、とっても狙いやすい感じでした。

魚が集中しているところには、タナゴ類、フナが大量にいて、直ぐに釣れそうな雰囲気でしたが水温が低いのかなかなか口を使ってくれません。

諦めずにいろいろ試していると、底の木の枝みたいなものが２ｇスプーンに飛びかかってきました。

よく見るとその正体は、ナマズでそれもそこそこに沢山います。

今回も、小魚釣りのつもりでラインはフロロカーボンの１号通し（とっても細い）なので小さなやつを狙いますが、近くの大きなやつが先にルアーを襲います。「ガツン」とヒット。やってしまいました。とても抜き上げることが出来ないサイズです。仕方がないので上流の岸辺に降りられる所まで引っ張っていって岸にヅリ上げました。

サイズを測ると生涯４番目の記録の６１．７ｃｍと立派なサイズでした。面白いのでその後も狙うと直ぐに２匹（５９、５７ｃｍ）釣れました。まだまだ釣れそうでしたが、十分満足したのと上げるのに１０分以上掛かるためこれにて納竿としました。

今回は、淡水の小物釣りの様子をご紹介しましたが、吉野川は、日本有数の魚種を誇りルアーフィッシングの対象魚も沢山いますので、みなさんも釣りに行ってみて下さい。

今回、**３魚種ゲット。通算２６魚種**となりました。次は何を狙おうかな？

＜タックルデータ＞
ロッド：パックロッド６ｆ（約１．８ｍ）
リール：ダイワ2000番
ライン：フロロカーボン１号
ルアー：スプーン2ｇ

釣り人Nのお魚紹介コーナー

＜コウライモロコうんちく＞

コイ目　コイ科　カマツカ亜科　スゴモロコ属　コウライモロコ

棲んでいるところ：淡水魚・濃尾平野、和歌山県紀の川から広島県芦田川までの本州瀬戸内海側、吉野川、朝鮮半島西岸。大きな河川の下流の暖流域。砂底または砂泥質の底近く。

大きさ：全長10cmほど。

食べているもの：雑食性で、ミジンコなどのプランクトンや、水生昆虫などを補食する。

食べ方：天ぷら、甘露煮にするとうまいと言われているらしい。　旬は？

・スゴモロコ、デメモロコ、イトモロコに似ていて、同定は難しい。
交雑することもあるようで、正式な分類にはまだまだ掛かるようです。

＜ハスうんちく＞

コイ目　コイ科　ハス属　ハス

棲んでいるところ：淡水魚・日本での自然分布は、淀川水系とされているが、稚鮎の放流とともに関東・中国・四国・九州などにも分布するようになった。日本以外ではアムール川、朝鮮半島等

大きさ：体長は、多くの場合30cm、最大で40cmに達するとされているが、私は四国では30cm超えるものは、釣ったことがない。オスの方がメスより大きくなる。

食べているもの：日本のコイ科魚類としては、珍しい完全な魚食性の魚。

食べ方：塩焼き、天ぷら、唐揚げ、南蛮漬け、背ごし、小骨が多いのが難点。琵琶湖周辺では普通に売っているらしい。未確認　初夏が美味しいらしい。？

・幼魚のうちは、オイカワに似ていて、区別は困難であるが成長とともに口が大きくなり、区別付きやすくなる。

＜ナマズうんちく＞

ナマズ目　ナマズ科　ナマズ属　ナマズ

棲んでいるところ：淡水魚・北海道南部～九州の池や湖、河川の流れの緩やかなところ、水路。日本以外では中国東部、朝鮮半島西岸、台湾。

大きさ：体長60cm前後となるとされているが、私の記録は72cm。

食べているもの：夜行性で魚食性。小魚、甲殻類、カエルやヘビなども食べる。

食べ方：天ぷら、煮付け、味噌汁、蒲焼き、洗い。　旬は春～夏

・最近では、ウナギが少なくなり、貴重となったため、ウナギ味のナマズが開発されたりしている。